(6) 学校支援地域本部事業の概要

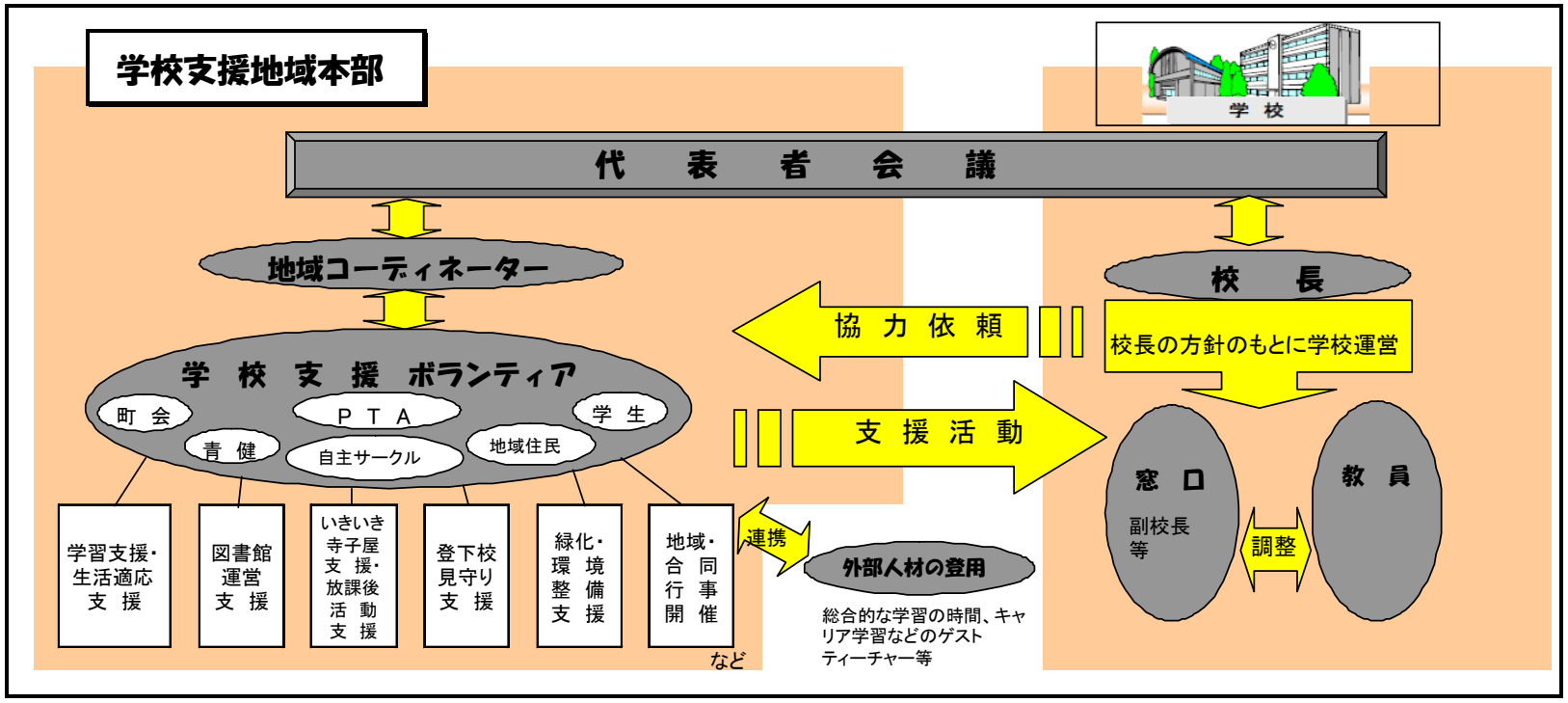
学　校　支　援　地　域　本　部　事　業
“地域の子どもは地域が育てる” 学校支援活動推進事業

学校支援地域本部とは

学校の教育活動等を支援するために、地域のボランティアの方々が各種の支援活動に参加できるようコーディネートするもので、“地域による学校の応援団”と言えるしくみづくりである。
地域の方々がこれまでにも協力いただいてきた学校支援活動を、さらに発展させて組織的なものとし、学校の求めと地域の力をつなぎ、一層効果的な支援活動にすることによって、教育の充実を図ることをめざすものである。

背　景

社会の複雑多様化、子どもを取り巻く環境の大きな変化の中で、学校が様々な課題を抱えるとともに、家庭や地域の教育力が低下し、学校に過剰な役割が求められる状況がある。
しかし、これからの教育は、学校だけが役割と責任を負うのではなく、学校・家庭・地域の連携が不可欠であり、そうした連携の具体的な方策として、学校支援地域本部事業がその中核となることが期待されている。

期待される効果

学校の状況に応じて地域ぐるみで学校の教育活動等を支援することで、以下のことが期待される。
①教員や地域の大人が子どもと向き合う時間が増え、教育活動の充実につながり、子どもの教育がよりよいものとなる。
②地域の方々が自らの経験や学習の成果を生かす場がひろがり、自己実現や生きがいづくりにつながる。
③地域全体で子どもの学びを支える活動を通して、地域の教育力の向上、地域の活性化につながる。